

貸借対照表

(2023年6月30日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
流動資産	685,460	流動負債	539,143
現金及び預金	487,530	買掛金	13,789
売掛金	142,847	一年内返済予定長期借入金	99,996
商品	1,924	未払金	372,203
前払費用	25,373	未払費用	23,529
未収消費税	18,549	前受金	22,951
その他	9,234	その他	6,674
固定資産	1,062,879	固定負債	500,004
有形固定資産	7,983	長期借入金	500,004
工具器具備品	8,153		
減価償却累計額	△169		
無形固定資産	1,046,296	負債合計	1,039,147
のれん	1,046,296	(純 資 産 の 部)	
投資その他の資産	8,600	株主資本	709,192
差入保証金	8,600	資本金	10,000
		資本剰余金	1,101,111
		資本準備金	1,101,111
		利益剰余金	△401,919
		その他利益剰余金	△401,919
		繰越利益剰余金	△401,919
		純資産合計	709,192
資産合計	1,748,339	負債・純資産合計	1,748,339

重要な会計方針

1. 資産の評価基準及び評価方法

(1) たな卸資産の評価基準および評価方法

商品 …… 個別法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく薄価切下げの方法）

2. 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 …… 定額法

なお、主な耐用年数は次のとおりであります。

器具備品 4年

無形固定資産 …… 定額法

3. 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金 …………… 債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

4. 収益及び費用の計上基準

(1) サブスク機能提供

顧客が購入したプランに定められた契約期間にわたりサービスを履行する義務を負っているため、時の経過につれて履行義務が充足されるものとし、契約期間に応じて収益を認識しております。

(2) 興行・PPVチケット販売

顧客が購入した興行・PPVの提供期間にわたりサービスを履行する義務を負っているため、時の経過につれて履行義務が充足されるものとし、提供期間に応じて収益を認識しております。

(3) グッズ販売

顧客が購入したグッズを発送した時点で履行義務が充足されるものとし、当該時点で収益を認識しております。

(4) 広告サービス提供

顧客との契約に基づき広告出稿がなされた時点で履行義務が充足されるものとし、当該時点で収益を認識しております。

(5) ユーザーに対するポイント販売

顧客が購入したポイントを使用してエールアイテムを購入することが可能となるため、顧客がエールアイテムを購入した時点で履行義務が充足されるものとし、当該時点で収益を認識しております。

5. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税等の処理方法……税抜方式によっております。

当期純損益金額 △401,919千円

以 上